

15年平和行進 FAX News NO 02

2015年国民平和行進大分県実行委員会 連絡先・090-2511-4414 7月 3日

100人が参加して引継ぎ式 大分県被団協会長があいさつ

心配された雨も降らず、曇り空ながら爽やかな風の吹く中、7月2日13時からJR重岡駅前広場で、2015年国民平和行進の宮崎県から大分県への引継ぎ式が約100人(宮崎60人、大分40人)が参加して行われました。

出発式には大分県被団協の永島会長が初めて参加し挨拶しました。

行進横断幕や団体の通しのぼり旗を宮崎から大分に引継ぎ、両県の代表が挨拶。

宮崎県の代表は「これまでは首長の代理があいさつしていたが、今年は首長自ら挨拶、新たに2自治体の議長が募金に協力するなど自治体との関係が深まった」、NPT参加者は「4人で手分けして自治体を訪問し報告した」、宮崎県内の通し行進者は「沖縄も歩いてきた。沖縄と連帯する気持ちで歩いた」。大分県代表は「NPTに参加して核兵器廃絶の流れを押し止める事は出来ないことを実感した。核兵器のない世界のために県内12日間を歩く」と決意、通し行進者は「東日本大震災の年と次の年に通し行進し、その後2年は沖縄・高江の“座り込み”参加し、今年再び挑戦したい」佐伯市の代表は「教師時代修学旅行を宮崎から長崎に変更させ、原爆資料館などの見学を実現させた。」と教師時代の逸話を披露しました。

その後、大分県行進団が宣伝カーを先頭に宮崎県の皆さんの見送りを受け、県内行進に出発しました。

大分県被団協会長が引継ぎ式に参加

引継ぎ式に大分県被団協の永島三歳さんが参加しました。引継ぎ式への被団協会長の参加は初めてです。永島会長は「4歳の時に広島で被爆した。被爆者も年を取り比較的若い私が会長をおおせつかった。」と述べ、自らが被爆者としてピースボートに参加した経験など語り、9条の大切さと核兵器廃絶を訴えました。そして「今日は残念ながら歩けないが、竹田市と豊後大野市の行進では歩きたい。」と話しました。

一言・感想

「新顔さん達が参加してうれしかった」「若い頃1～2回経験があったようだが新鮮な気分でガンバロウと思っています」「戦争法案 許さない女性の平和への願いを持って、行進したいと思います」

3日目・7月4日(土)の日程

- 10:00 津久見市役所集合・出発
- 11:00 津久見市青江まで行進(昼食)
- 13:00 臼杵市上塩田で、津久見市から臼杵市に引継ぎ・出発
- 15:00 臼杵市役所着